

FOCS DSコンパクト取扱説明書

はじめに

この度は「ゆっくりレンタカー」をご利用いただきありがとうございます。

本書はキャンピングカーFOCS DSコンパクトの取扱方法を説明したものです。

キャンピングカーの取扱いは乗用車と異なり、いろいろな機能や機器など、居住に関わる部分を多く取付けておりますので、ご使用前に必ずお読み下さい。

本書は次のお客様の為にも大切に保管下さい。

車両の仕様などの変更により、取扱商品、設備に関して内容が一致しない場合もございます。

あらかじめご了承下さい。



ガイドの構成

①ご使用前に	当社製作車両がお手元に届いたらまずお読みください。	
②標準装備一覧	標準装備一覧です。	
③各部の名称と使い方	1	キャンピング設備電源
	2	電装配電盤
	3	メインパネル
	4	走行充電装置
	5	外部100V充電装置
	6	サブバッテリーの上手な使い方
	7	DC12Vソケット
	8	USB給電ポート
	9	100Vコンセント
	10	照明
	11	水周り
	12	テーブル
	13	ニの字シート ベッド展開方法
	14	カーテン
	15	カーナビ電源スイッチ (Option)
	16	FFヒーター (Option)
	17	ホーダイル 電源
	18	液晶モニター
	19	電気ケトル
	20	ドライヤー
	21	電子レンジ
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
④車両レイアウト	登録検査時のレイアウト図です。	

① ご使用前に

このたびは、当社の製作車両をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

このガイドは当社で施工した、設備・装備について説明しています。

お客様が安全・快適なキャンピングカーライフをより楽しんでいただくために、ご使用前に必ずお読みください。

★ この車両はキャンピングに必要な設備を装備した車両となっており、車両登録はキャンピング車となっております。

※ 以降、装備の説明ではキャンピング設備と説明しています。

★ この説明書は各部の取り扱いを説明し、装備など必要な情報を説明しています。

★ ご不明な点は、当社までお尋ねください。

★ この説明書は車両の取り扱い説明書・保証書と共に、いつもお車に保管してください。

★ 自動車本体については、自動車メーカーの説明書をご覧ください。

★ 車両の仕様変更により、この説明書の内容と一致しない場合がありますがご了承ください。

安全にお使いいただく為に

	警告	誤った取扱いをすると、怪我などにつながる可能性がある内容を示しています。
	注意	誤った取扱いをすると、機器の故障につながる内容を示しています。
		「してはいけないこと」を示しています。
		「しなければいけないこと」を示しています。

使用についての注意



怪我・火傷・火災などの原因になります。

- ・走行中は各部の扉、ベルトがロックされていることを確認してください。
- ・上部物入れには重量物を収納しないでください。
- ・収納、積載物が移動、落下しないようにしてください。
- ・走行中はシートベルトを装着してください。
- ・セカンドシートへのチャイルドシート装着には十分にご注意ください。
- ・走行中は寝台を使用しないでください。
- ・走行中は所定の位置以外への乗車はしないでください。
- ・走行中は車内移動はしないでください。
- ・走行中は付属テーブル、調理器具を使用しないでください。
- ・キャンプ中、調理器具を使用する場合は必ず窓を開けるか、ベンチレーターを作動させ換気を必ず行ってください。
- ・キャンプ中、調理器具を使用する場合は近くの可燃物（カーテンなど）にご注意ください。
- ・キャンプ中のFFヒーター使用では、ヒーターマフラー近くに可燃物が無いことを確認し、使用してください。
- ・キャンプ中、ベッドを使用する場合は、止め具がしっかりかかっているかを確認し、落下にはご注意ください。



機器の故障の原因になります。

- ・走行中はサイドオーニングがしっかり収納されているか確認してください。
- ・定期的にサブバッテリーのメンテナンスを行ってください。
- ・キャンピング設備の電装品の改造をしないでください。
保証の対象外となります。
- ・シート、ベッドには立って歩行しないでください。



継続車検が受けられなくなります。

- ・シートマットは車両から降ろさないでください。
- ・シンク、蛇口など炊事設備は取り外しなどをしないでください。

② 装備品一覧

下記は当社が標準装備として架装した装備の一覧です。
お手持ちの車両には下記装備が装備されています。

- ・断熱処理（グラスウール&スタイロフォーム）
- ・サブバッテリー×1（105A）
- ・走行充電&100V外部電源充電システム
- ・室内12Vソケット
- ・室内USB給電ポート
- ・室内100Vコンセント
- ・サブバッテリー電圧計
- ・室内照明各種
- ・脱着式テーブルセット
- ・シンク+スイッチ付き蛇口
- ・給排水10Lポリタンク
- ・遮光カーテン

③ 各部の名称と働き

1・キャンピング設備電源

サブバッテリー

当社製作のキャンピングカーには
キャンピング設備専用のバッテリーを
搭載し、走行充電装置又は外部100V
充電装置により充電することができます。



右シート家具内部

走行充電装置は車両エンジン稼働時に
自動でサブバッテリーを充電します。

外部100V充電装置は、AC100V電源（家庭用コンセントやキャンプ場の
電源サイトなど）のある場所で外部充電コンセントを接続することにより、
サブバッテリーを充電することができます。

サブバッテリーの充電について

キャンピングカーがさまざまな電装品を装備し、使用することができます。すべての電装品はサブバッテリーが正常に充電されている状態であれば快適に使用することができます。

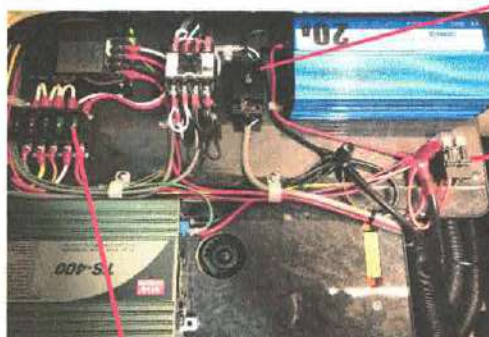
サブバッテリーはキャンピング設備を使用していなくても常時放電しています。（電圧が下がる）

キャンピング設備を使用しようと思ってもサブバッテリーの充電状態が悪ければ、正しく使用することができません。

キャンピングカーのサブバッテリーはメンテナンスフリーのディープサイクルバッテリーを搭載していますが、バッテリーの充電状態はメンテナンスフリーではありません。

使用したいときに快適にご使用できるよう、車を使用していない時でも普段からサブバッテリーへの充電が必要です。

2・電装配電盤



A

G

F

E

D

C

B

車両搭載のバッテリー

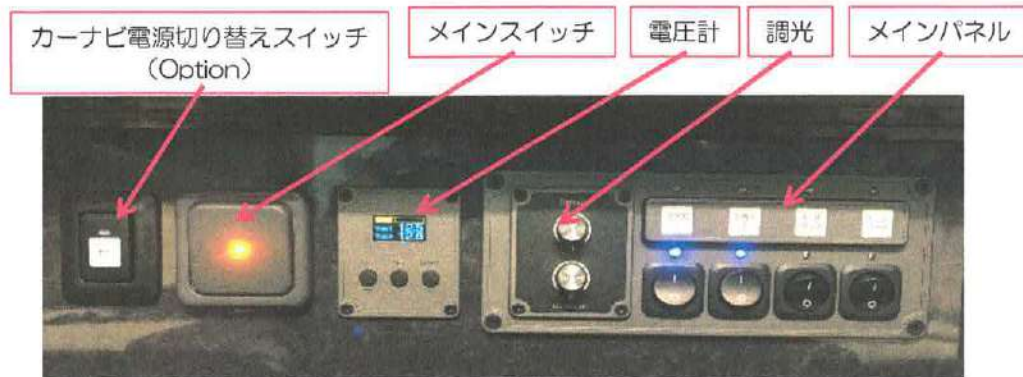


K

A	外部100V入力用ブレーカー 20A
B	走行充電器 出力側ヒューズ 30A
C	メインスイッチ・パネル用ヒューズ 30A
D	USB,シガー用ヒューズ 15A
E	冷蔵庫用ヒューズ 10A
F	ベンチレータ用ヒューズ 7.5A (Option)
G	FFヒーター用ヒューズ 5A,25A (Option)
H	
J	
K	走行充電器 入力側ヒューズ 30A

3・メインパネル

ギャレーにメイン操作パネルを設置しています。

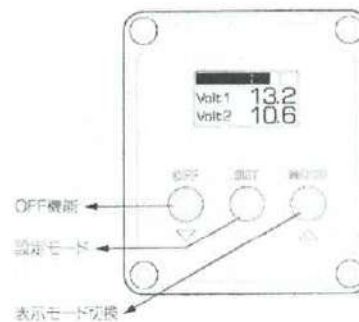


◆ 設定モード:

- 【SET】ボタンを約2秒以上長押しで設定モードに入ります。
- 左の【▼】と右の【▲】ボタンを短押しで数値を調整してください。
- 【SET】ボタンを短押しで設定すると同時に次のステップに進みます。

Volt1 高警告設定 15.0V	(1)【Volt1 高警告設定】: 電圧計-1の高電圧の警告値を設定してください。 設定範囲 13.0V~32.0V
Volt1 低警告設定 10.0V	(2)【Volt1 低警告設定】: 電圧計-1の低電圧の警告値を設定してください。 設定範囲 0.0V~32.0V; それに、(1)【Volt1 高警告設定】の設定値より低い。
Volt2 作動設定 作動させる	(3)【Volt2 作動設定】: 電圧計-2の計測と表示の可否を設定してください。 設定範囲 【作動させる】と【作動させない】
Volt2 高警告設定 15.0V	(4)【Volt2 高警告設定】: 電圧計-2の高電圧の警告値を設定してください。 設定範囲 13.0V~32.0V
Volt2 低警告設定 10.0V	(5)【Volt2 低警告設定】: 電圧計-2の低電圧の警告値を設定してください。 設定範囲 0.0V~32.0V; それに、(4)【Volt2 高警告設定】の設定値より低い。
一般表示輝度調整 7	(6)【一般表示輝度調整】: 一般表示のバックライトの明るさを設定してください。 設定範囲 1~10レベル
睡眠表示輝度調整 2	(7)【睡眠表示輝度調整】: 睡眠状態のバックライトの明るさを設定してください。 設定範囲 OFF~1~10レベル
睡眠時間調整 2	(8)【睡眠時間調整】: 睡眠状態に自動的に変わる時間を設定してください。 設定範囲 1~10分間
ブザー作動設定 作動させない	(9)【ブザー作動設定】: 警告値を超えたらブザーを鳴らせるかを設定してください。 設定範囲 【作動させる】と【作動させない】
終了	(10)【終了】: すべての設定項目が完成しました。次には一般表示の画面に戻ります。

Volt1: メインバッテリー
Volt2: サブバッテリー



◆ 表示モード: (5 画像)

【MODE】ボタンを短押しして表示モードの5画像が切替ます。

- ① 電圧計1 ② 電圧計2 ③ 電圧計1 + 電圧計2 ④ 電圧計2 + 電圧計1



◆ OFF機能:

【OFF】ボタンを短押しして表示の画像が真っ黒に消えて、OFFの状態となります。

- OFFの状態ですれのボタンを短押ししたらメーターが起動してオープニングモードが始まります。

◆ ワーニング機能:

- 計測値が設定の警告値を超えると、警告として超えた計測値が反転に点滅します。
- 計測値が連続5秒間に設定の警告値を超えると5画像が同時に点滅するし、ブザーになります。



- 黄色バーに設定の警告値は破線で示されます。
- 【OFF】ボタンを短押ししたらブザーがミュート(消音)となります。



FFヒーター(Option)はメインスイッチのON・OFFに関係なく使用することができますが、サブバッテリー上がり防止のため、過放電保護装置を作動させる必要があります。必ずメインスイッチをONの状態ですFFヒーターを使用してください。

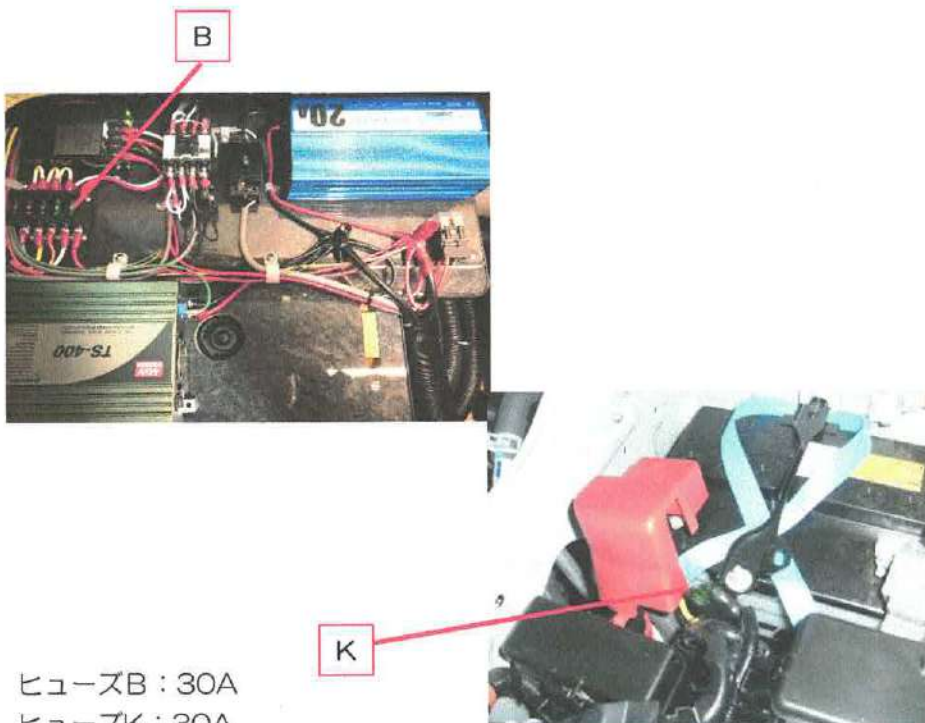
4・走行充電装置

走行充電装置はエンジンを始動することによりサブバッテリーに自動的に充電を開始します。走行充電装置が作動しているかどうかは、装備品を使用しない状態でエンジン始動後、メインパネルの電圧計の値が上がることで確認できます。

また、この走行充電装置には過充電防止装置が付いているため、サブバッテリーが過充電になることも防止しています。

エンジンを始動してもメインパネルの電圧計の値が上がらない場合は、走行充電装置が作動していない状態が考えられます。

その場合は下図のB・Kのヒューズが切れていないか確認し、切れている場合はヒューズを交換してください。



ヒューズは一般量販店で販売されているブレードヒューズです。



ヒューズを交換しても再度ヒューズが切れる場合は、走行充電装置本体の故障、又は配線類の不具合が考えられます。

その場合は速やかに点検・修理をお受けください。

5・外部100V充電装置

外部100V充電装置は、外部100V入力コンセントを接続することでサブバッテリーを充電することができます。（周波数関係なし）



外部100V入力ケーブル



外部100V入力ソケット



- ① 外部100V入力ケーブルとソケットに刻印されている数字を合わせて接続します。
- ② 外部100V入力ケーブルの反対側を家庭用100Vコンセントに接続します。
- ③ ケーブルを外す場合はフルリングを引っ張りロックを解除して外します。

外部100V入力ケーブルをソケットと100Vコンセントに接続後、配電盤にある100V入力ブレーカーを「入」に切り替え、サブバッテリーチャージャーのスイッチをONにすることでサブバッテリーへの充電が開始されます。

外部100V充電装置の作動は、充電開始後 装備品を使用しない状態でメインパネルの電圧計の数値が上がることで確認できます。

外部100V入力コンセントを接続してもメインパネルの電圧計の数値が上がらない場合、充電装置が作動していない状態が考えられます。その場合はBのヒューズが切れていないか点検・確認し、切れている場合はヒューズを交換してください。



100V入力ブレーカー

サブバッテリーチャージャー
スイッチ



ヒューズを交換しても再度ヒューズが切れる場合は、走行充電装置本体の故障、又は配線類の不具合が考えられます。

その場合は速やかに点検・修理をお受けください。

6・サブバッテリーの上手な使い方

キャンピングカーはさまざまな電装品を装備し、使用することができるようになっていますが、車やキャンピング設備を使用しない場合でもサブバッテリー自体の自己放電やキャンピング設備の微量の消費電流(機器内部の回路を流れる電流)により、サブバッテリーの電圧は下がっていきます。

また、走行充電装置や外部100V充電器によりサブバッテリーを充電しながらキャンピング設備を使用しても、消費電力が大きい場合はサブバッテリーの電圧は下がっていきます。

サブバッテリーは一度 過放電状態(バッテリー上がり)になると、再充電を行ってもバッテリーとしての性能が著しく低下してしまいます。

さらにサブバッテリーの電圧が著しく低下している状態で装備品を使用するとメインバッテリーの電圧低下も招き、車両のエンジン始動が不可能になってしまう恐れがあります。その場合はメインスイッチをOFFにし速やかに装備品の使用を中止し、走行充電装置や外部100V充電器で充電を行ってください。

長期間使用しない場合でも、メインパネルの電圧計をこまめにチェックして、電圧が下がってきたら、充電装置で充電してください。

通勤などで毎日走行している車でも、短時間の走行や、アイドリングの状態ではサブバッテリーを満充電にすることはできません。

キャンプ等で車を使用する予定の場合、お出かけになる2・3日前からご自宅で外部100V充電を使用してサブバッテリーを充電し、満充電にしておくことをお勧めいたします。

～旅先でサブバッテリーが上がってしまったら～

充電電流の大きい外部100V充電装置を使用して充電するのが理想ですがAC100V外部コンセントが無い場合は、アイドリング以外での走行充電装置を使用した充電をできるだけ長時間(キャンピング設備のスイッチをすべてOFFが望ましい)行ってください。

■充電推奨順番■

- 1 外部100V充電装置を使用した充電
- 2 走行充電装置を使用した走行時の充電
- 3 走行充電装置を使用したアイドリングでの充電

7・DC12Vソケット

メインスイッチをONにすることで電源が供給され、ソケットタイプのDC12V製品を使用することができます。



シガライターは
使用できません



複数のソケットを使用したい場合は、市販の2連ソケットなどをご使用ください。
その場合でも総使用量は15Aまでです。



DC12Vソケット (15A)
※装備位置は④車輛レイアウトを参照

8・USB給電ポート

メインスイッチをONにすることで電源が供給され、使用できます。

USBケーブルを接続することで携帯電話やモバイル機器などを給電することができます。

1ポートの出力は最大2.1Aです。



接続する機器やケーブルによっては、
充電できない場合があります。



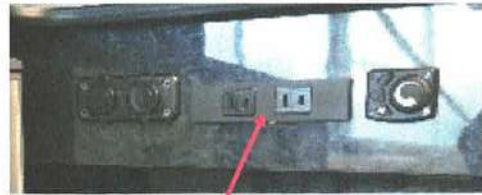
USB給電ポート (5V)
※装備位置は④車輛レイアウトを参照

9・100Vコンセント

①サブバッテリーから使用する場合

インバーター（Option）搭載車両の場合、サブバッテリーからAC100Vの電化製品を使用することができます。

100Vコンセントを使用する場合はインバーターのスイッチをONにします。



100Vコンセント
※装備位置は④車輛レイアウトを参照



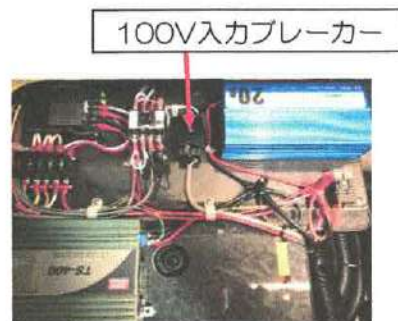
インバータースイッチ
(Option)

②外部100V入力から使用する場合

外部100V入力ケーブルを接続することで外部からの100Vがコンセントから出力されます。その場合、100V入力ブレーカーを切り替えて使用します。

100Vコンセントに接続して使用できる電化製品は20A以下のもの（総合計の場合も20A以下）をご使用ください。

外部100V入力ケーブルの接続先のブレーカーが20A以下の場合はそのブレーカーの容量内でお使いください。

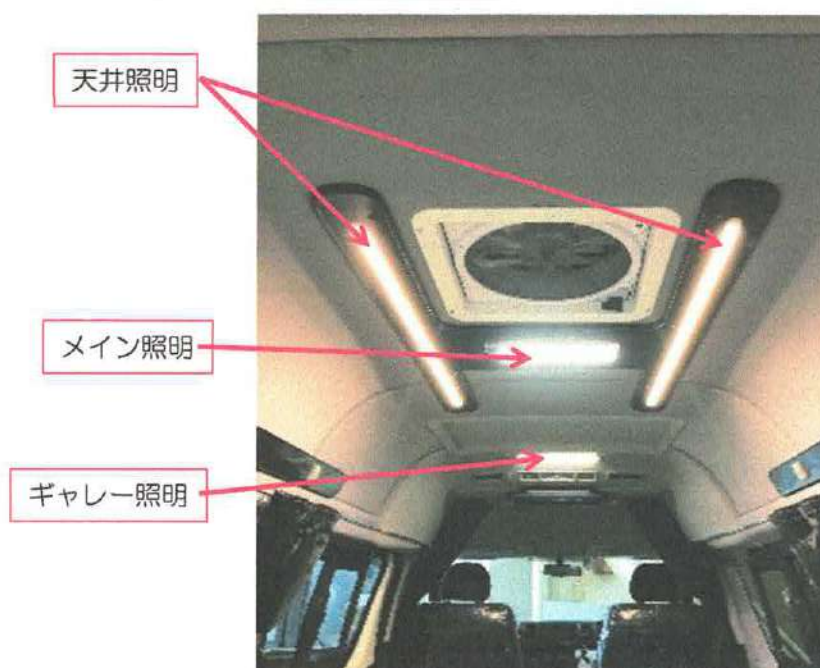
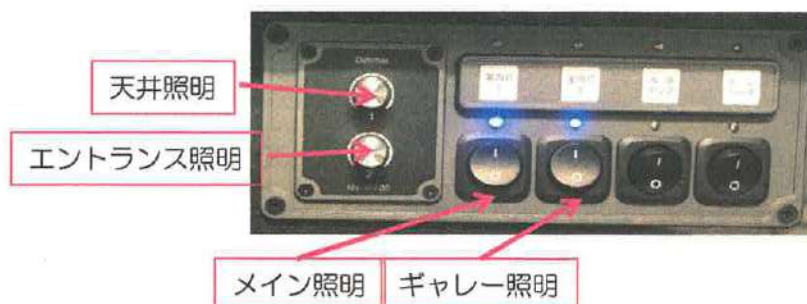


100V入力ブレーカー

外部100Vケーブルを接続しているのに、コンセントから100Vが出力されない場合や、外部100V充電装置が作動しない場合、ブレーカーが落ちている可能性があります。落ちている場合は入れ直してください。

10・照明

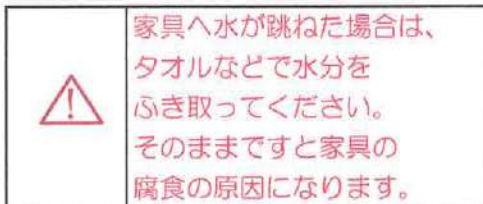
メインスイッチをONにすることで照明を使用することができます。
操作パネルの各スイッチからお好みに合わせて使用下さい。



11・水周り

この車両には給水・排水用に10Lポリタンクと電動式水ポンプ・蛇口が装備されています。

メインスイッチをONにした後、蛇口のスイッチをON・OFFすることで使用することができます。



排水タンク

ポリタンクを使用していますので
容易に水を捨てることができます。

使用しないとき、移動時には
フタをしてください。

排水ホース

水周りを使用するときは
排水タンクのフタを開け、ホース
を入れます。

水ポンプ

蛇口のスイッチをONにすること
で作動し、タンク内の水を吸い上げ
蛇口から水を出すことができます。

使用するとき、給水タンクの
中に入れてください。

給水タンク

ポリタンクを使用しています
ので、容易に持ち運び、水を
補給することができます。

使用しないとき、移動時には
フタをしてください。

水周り使用のご注意



給水・排水タンクは車両移動時、タンクに排水ホースや水ポンプを入れっぱなしにせず、必ずフタを閉めてください。



水を使用した後や、これから冬季間に入るためもう使用しなくなる場合は、必ずポンプの水抜きを行ってください。

水ポンプをタンクから取り出した状態でポンプを作動させ、ホース内、ポンプ内に水が残らないようにしてください。

ポンプ内に水が溜まったままだとポンプ破損の原因になります。



冬季間は凍結するためタンク内に水をためたまにしないでください。

タンクが割れるなどの破損の原因になります。



給水タンクにためる水は飲料水用ではありません。

洗顔・歯磨き・手洗いなどでお使いください。

その場合でも定期的にタンク内の洗浄を行ってください。



水ポンプを給水タンクに入れて初めて使用する場合、ホース内に空気が入っているため、水に空気が混ざり勢いよく蛇口から出てくる場合があります。

水はねにご注意ください。



水ポンプは水を吸わずにカラ運転を長時間続けると、ポンプが焼き付いてしまうことがありますのでカラ運転にご注意ください。

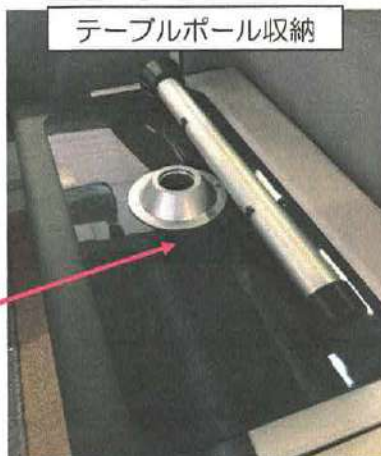
12・テーブル

テーブル収納状態



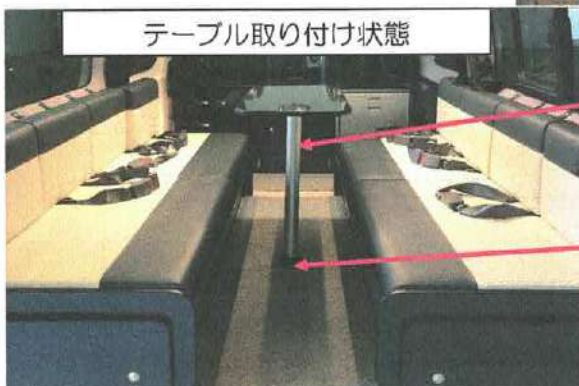
テーブルを使用しない場合、
ベッド助手席側後方に収納できます。

テーブルポール収納



テーブルポールは
テーブル裏に固定します。

テーブル取り付け状態



テーブル天板はポールへ
差し込むだけです。

ポールの床面への取り付け
はネジ式になっています。

ベッド状態でも
テーブルを使用
することができます。

この場合、マット
は切り欠きのある
専用マットを使用します。

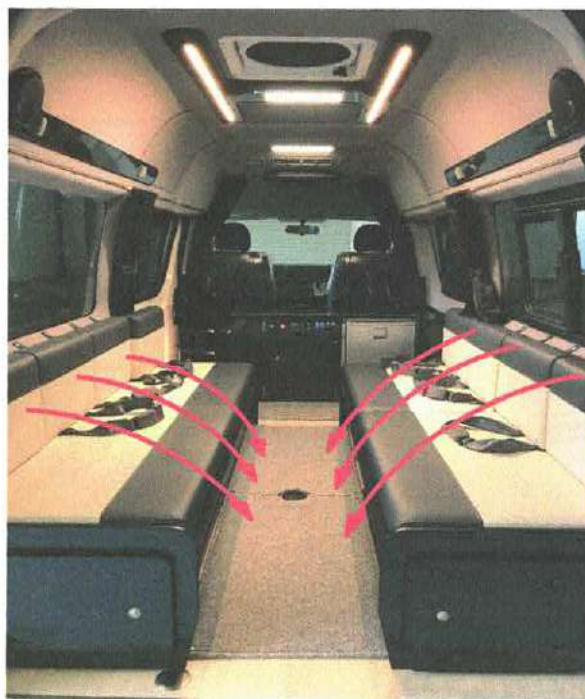
ベッドでの取り付け状態



	走行中はテーブルを使用しないで下さい。
	テーブルがポールから抜けづらい場合は、テーブルを持ち、小さく揺すりながら上に引き抜くようにしてください。 ポールがベースから取りづらい場合も、小さく揺すりながら、反時計回りにまわしてください。

13・二の字シート ベッド操作方法

背もたれマットはボディにホックボタンで固定されています。
取り外し通路にはめ込みベッド展開します。



ベッド状態でテーブルを使用しない場合は
背もたれマットをはめ込む場所などは関係なくどこでも入ります。
(ベッド状態にする場合、背もたれマットは8枚のうち6枚使用します。)



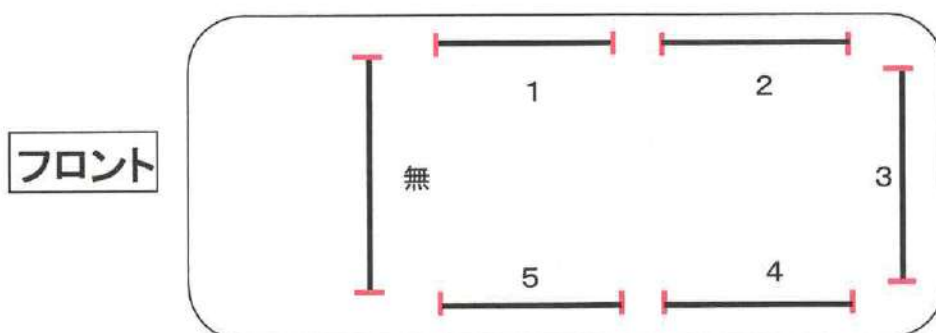
真ん中にはめ込む6枚のベッドマット上は、立って歩行しないでください。マットが破損する恐れがあります。

14・カーテン



カーテンには取り付け位置用の番号があります。

カーテン取付け位置番号



洗濯等で取り外し後、再びカーテンを取り付ける際は図の位置を参考にしてください。

カーテン洗濯時の取り扱い

弱
40

エン
ガラシ

低

ドライ
セキユ系

ヨ
ク

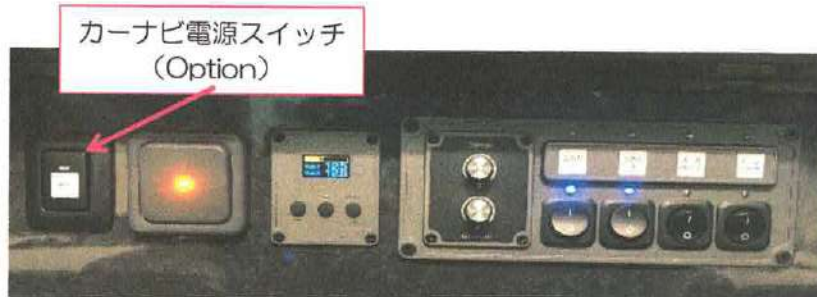
タンブラー(乾燥機)のご使用は、お避けください。

洗濯機で洗濯する場合、カーテンをヒダ山に合わせたヒダ畳みにして洗います。
 40°以下のぬるま湯または水で、中性洗剤をご使用ください。
 脱水は1分未満が適当です。脱水をかけすぎるとしわのもとになりますので
 ご注意ください。
 風合いの変化や収縮の原因となりますので、乾燥機のご使用はさけてください。

15・カーナビ電源スイッチ (Option)

後席からカーナビ電源操作を行える便利な設備です。

カーナビ電源スイッチはギャレー中央の。
メインパネルに配置しています。



車輻アクセサリ電源がOFFの状態であっても
スイッチを押すことでカーナビの電源供給を行います。

エンジン停止状態でもカーナビは使用出来ます
天井のフリップダウンモニター上に映像を映すことも可能です。



バッテリー上がりにご注意下さい。

この車両のカーナビ電源スイッチ



手順

メインスイッチON
↓
ナビスイッチON
でナビが起動します



16・FFヒーター（Option）

車両が走行していなくても使用できるヒーターです。

車両の燃料タンクより燃料が供給されるヒーターですので専用の給油は必要ありません。

操作方法是付属のFFヒーター取り扱い説明書を参照下さい。



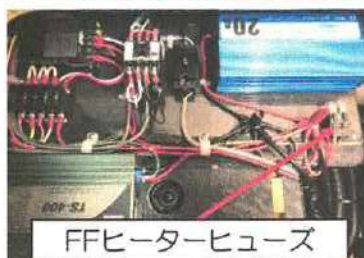
FFヒータースイッチ
(Option)



FFヒーターの電源はサブバッテリーに直接接続されています。

そのため、メインスイッチをONにしなくても使用することができますが、その場合 過放電警告装置が働かない為サブバッテリー上がりの可能性があります。

FFヒーターだけの使用の場合でも、メインスイッチをONにして使用してください。



FFヒーターヒューズ



FFヒーターマフラー



マフラー・排気ガスが高温になります。マフラー付近に可燃物が無いことを確認してからご使用ください。
また、ガレージなど閉め切った場所では絶対に使用しないでください。正しく運転することができません。



積雪や、走行中の巻き上がった雪などでマフラー出口や燃焼用吸気ホースが詰まるなどのトラブルの可能性があります。

ご使用前にマフラーの出口などを確認してください。



マフラーや燃焼用吸気ホースなどは製造会社が最適な燃焼をするように長さなどを決めています。

当社でも取り付けによる燃焼不具合が出ないように、テストしてホースの取り回しなどを行っています。

当社施工の状態からの改造（ホースカット・取り回しの変更）など行わないでください。

保証対象外となります。

17・ポータブル電源

・ポータブル電源を使用する

(AC100VとUSB、合計1500W迄)

1.主電源を押す

2.使用したい電源ボタンを押す

※社債のTVモニター、電子レンジ、ドライヤー、電気ケトル等がご利用になれます。

(但し同時には注意が必要です)

・ポータブル電源を充電する

1. エンジンをはける

(充電ケーブルが運転席のシガーソケットに差込み済)



(注意！)

使用しない時は主電源をOFFにして下さい。

高温、低温で使用出来なくなる場合があります。適温になると使用可能になります。

18・液晶モニター

ナビで再生しているテレビを観ることが出来ます。

(操作方法)

- ・ 操作パネルのメインスイッチをON、ナビスイッチをONにします。(運転中、ナビ付いてる時はこの操作は不要です)



- ・ ポータブルバッテリーをON,AC電源をONにします。
- ・ モニターのコンセントを差し込みます。
- ・ テレビ右下の電源を押してONにします。



- ・ チャンネル、音量はナビ本体やナビのリモコンで変えます。



← 回してボリューム
左右に押してチャンネル

19・電気ケトル



外部電源接続時は車内のコンセントを、外部電源接続していない時はポータブル電源の差込をご利用ください。



運転中は危険ですのでご使用なさないで下さい。

20・ドライヤー



外部電源接続時は車内のコンセントを、外部電源接続していない時はポータブル電源の差込をご利用ください。

21・電子レンジ



運転中は危険ですのでご使用なさないで下さい。

外部電源接続時→室内のコンセント

ポタ電接続時→ポータブル電源のコンセント

（食べ物、飲み物を温める程度の利用をお願いします。）

盗難対策用のオートアラームについて

車中泊の際、オートロックで施錠して、外に出る際オートロックを使わずに手動で開けてしまうとアラームがなります。

基本は、閉めた操作で開ける。

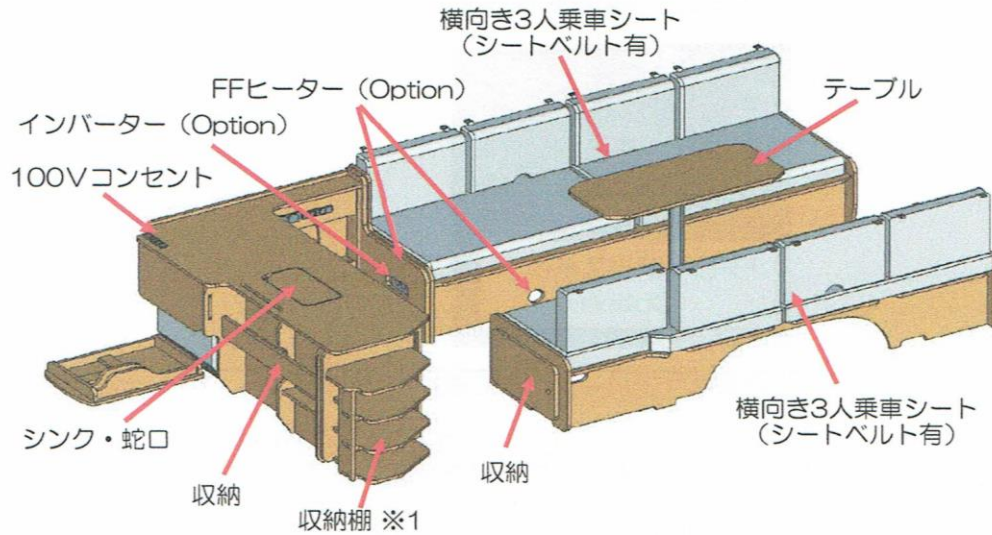
- ・鍵のオートロックで施錠したらオートロックで開錠する。
- ・手動で施錠したら手動で開錠する。

万が一なってしまった際は慌てず、エンジンをかけるとアラームが止まります。

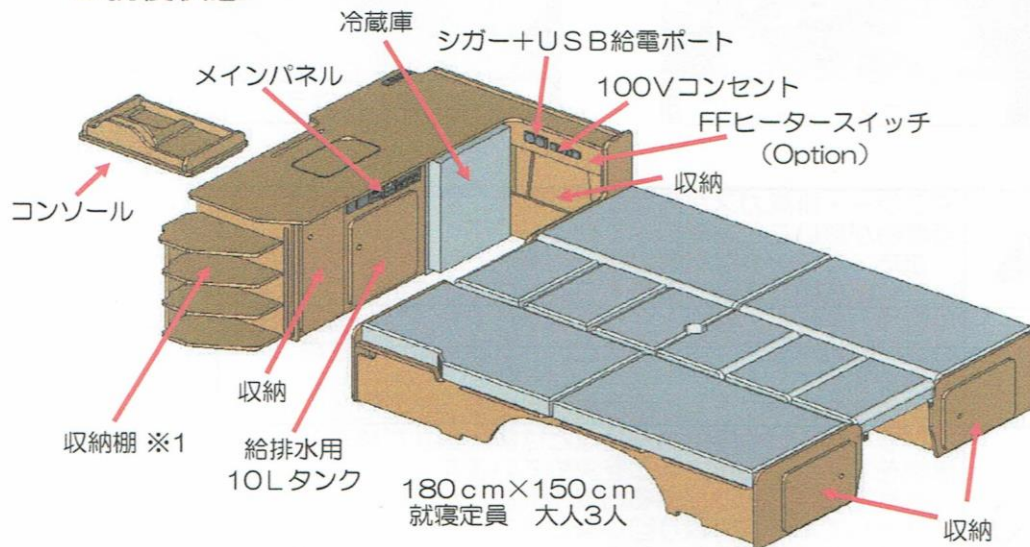
車両レイアウト

ベース車種：トヨタ/ハイエースDX（標準ボディ・ハイルーフ）
乗車定員：8人（DXGLパッケージの場合9人）

■乗車状態



■就寝状態



※1 各段の耐荷重5Kg未満



破損の原因となりますので耐荷重範囲内でご使用下さい。